

延べ床3万2000m²

コンベンション施設

外観イメージを公表

コンコース、ホワイエ強調

県コンベンション推進課は、高崎競馬場跡地に整備するコンベンション施設の外観イメージを公表した。展示施設と会議施設をS造4階建て、延べ床面積約3万2000㎡の一つの建物として整備する。人々が行き交うコンコースとホワイエを強調したデザインが特長。外観の色については、基本設計が終わる9月末までに高崎市景観色彩ガイドラインに基づいて決める。2017年度上期中に実施設計まで終わらせ、下期の着工を目指す。

の周囲を馬場の記憶が残るように長円形の緑道で囲み、地域住民が気軽に利用できる交流スペースとする。さらにメインエントランス導入部や内装デザイン、外構デザインに県産材の活用などを通して群馬らしさを表現していく。

施設は19年度中に完成させ、準備期間を経て20年度のオープンを目指す。基本設計は佐藤総合計画（東京都墨田区）が担当している。

東毛広域幹線道路側から見た外観イメージ

会議施設がS造4階建て、展示施設がS造3階建てとなる。展示施設のうちホールに当たる部分の面積は1万㎡となる。施設東側には1670台分の立体駐車場と452台分の平面駐車場を設ける。このほか、駐輪場や大型バス・トラック駐車場も敷地内に整備する。

デザインコンセプト

は◇にぎわいあふれる

「交流空間」◇地域との

交流を生み出す「パーク

コンベンション」◇地域

資源を生かした「群馬ら

しさ」。本県の高い拠点

性をイメージし、エント

ランスをクロスポイント

として交流空間が交わる

構成とする。また、施設

歩車分離を徹底し、北側からは新設するデッキを通って2階に、東側の駐車場からは連絡橋を通って同じく2階に直結させる。施設西側は将来的な増設用地とし、当面は屋外展示場として活用していく。概算事業費は